二、日常斗爭と結んで奬諭の換起につとめること

十三、労働組合戦線統一に関する件

提出　大阪聯合会　　説明　熊本奬市君

主　文

吾同盟の戦線統一方針に立脚しつゝ更に現下の客観情勢に順應して一層効果的に本旨の徹底を計るため其具体的方策を決定し之を実践にうつさんとするものである

理　由

崩潰期に立てる日本資本主義は最後のもがきにあらゆる積力を動員して新興諸勢力に圧迫しつゝあるかゝる情勢に於て吾々の任務は確固としてゆるぎなき陣容を張り大衆の圧力を以つて之を克服し一君万民の新日本建設に邁進する事であるそれには客観的情勢の正しき把握なし以つて一切の反資本主義勢力中の代表的団体である労働組合の分散せる陣容を整備統一する事は極めて重要なる事である吾々は此の重要なる事柄の前に立つ時過去に於ける亜流マルクス主義共が吾々に対してなせる罵詈中傷に対しては言ひ得ぬ不満と奮激を感ずるものではあるがかゝる感情に取らわれて此の聖戦をサボル様な事は断じて為し得ない事である故に吾々は一應は各労働団体に対して資本主義打倒の為に絶対必要の戦線統一に対しての誠意を私す必要がある然して其の誠意を有する団体とは小異をすてゝ大同にゝき目的の貫徹に邁進しなければならぬ

然しながら吾々過去の経験に依つて見るも何れの団体にしては一應は大義名分且此の種の提唱や決議はするがさて実際にと言ふと指導精神云々を言つて中々実現しないものである今吾大阪聯合会がかゝる決定をなさんが彼等は再び或は猛然と起つて吾等の指導精神たる国家社会主義に対し批判し来るであらうけれ共吾々は日本の資本主義を打倒するためには日本の国家国民性を把握し国情を無視せざる運動でなくては断じて成功し得ないのである其の為には大要左の三点を挙て其合同統一の基礎的な意見とするものである

一、国体に合ひ入れざる共産主義を排する事

二、資本主義の修正にあらずして打倒を目的とすること

三、一君万民の搾取なき新日本の建設を目的とすること

即ち一の共産主義を排する事については多く語る要なき迄に理由明確であるがこの項に対しては今日の如く資本主義が行詰まれば窮余の策として彼等自らが改造を表中て修正を行ふ其の手元に成つて居る御用団体に対する警戒あり三の一君万民の搾取なき新日本　そが我国々民の等しく其建設を要望する処であつて吾々は信念を以つて此事の実現を叫ぶものである

実行方法

同盟本部の機関紙を通じて実践的に乗り出す事

十四、国家社会主義新党結成促進に関する件

提出　泉州一般産業労働組合　　説明　大石彦三君

主　文

真正国家社会主義を指導精神とする新党の結成を早急にせんとするものである